

野の仏さまにおききしました

2023.4.3 (月) NO12

「退歩を学すべし」今日の社会は、だれもが進歩することしか考えてない。
進歩進歩、前進前進の毎日。汗水たらして、追っかけっこをしてしまった。



二人で前進と退歩を繰り返し、日々の暮らしを支えあっておられる塔身仏(傍示・北浦の辻)

結果、みんなが幸福になったのか。
いや、それどころか無理な進歩を続けて、危険な崖にぶつかって倒産したり、谷底に落ちて身を失ったものも多い。
一歩退けば崖にはぶつからなかったのであろう。
一歩退けば、谷へ落ちなかったのであろう。
現代人は、進歩には強いが、退歩に弱い。
進歩には勇気はいらない。が、退歩には強大な勇気と工夫がいるものだ。
強烈な意思を持って退歩をすれば、自分の原点に戻れる。
自分の原点に戻れば、崖っぷちでも谷間でも、しっかりと踏みとどまれる。
座禅とは手をまげて、足を折って、一切の活動を停止した人間の退歩の姿だ。
と、野の仏さまがおっしゃいました。

=了=